

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第16巻第3号

発行日●2009年3月27日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

### 第38回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。現在、コーディネーターの三浦俊彦先生（中央大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましばらくお待ちください。

開催日程：6月27日（土）・28日（日）

開催場所：慶應義塾大学 経営管理研究科（横浜市・日吉キャンパス）

### 自由論題研究報告を募集します！

6月27日（土）・28日（日）に開催されます第38回消費者行動研究コンファレンスでの自由論題の発表者を募集します。自由論題研究報告は1日目に設定される予定ですが、時間等は未定です。発表順などは事務局で調整させていただきます。発表者のうち1名が学会員であれば共同発表でも構いません。なお、自由論題研究報告は、以下に示すセッション制度にもとづいて実施されます。

	発表セッション名	セッション概要
1. ショート・セッション (15分程度の発表と質疑応答)	インキュベーション・セッション	研究アイデアを発表。 研究アイデアの良いポイントを褒める！ 可能性を考える！ 共同研究などでも構いません。
	ケーススタディ・セッション	少数事例、研究計画にほころびがあるようなものでも発表。 企業などでの実践例などの報告も可能！
	通常セッション	従来形式の自由論題を踏襲。
2. ロング・セッション (30分程度の発表と質疑応答)	ロング・セッション	従来形式の自由論題を踏襲。

発表を希望される方は、「2009年4月1日（水）～4月30日（木）」の間に、JACSのホームページに記載されている要領にしたがって事務局までお申し出ください。なお論題が本学会にそぐわない場合には、発表をお断りすることがありますのでご了承下さい。

## JACS の新体制がスタートします！

2008年11月22日に開催されました会員総会において学会役員が改選され、この4月より、守口副会長のもとで新体制（2009～10年度）がスタートします。

会 長：守口 剛（早稲田大学）  
副会長：土田昭司（前会長・関西大学）  
高橋郁夫（次期会長・慶應義塾大学）

6月のコンファレンスでは、恒例の会長講演も予定されています。さて、どのような話が飛び出すのでしょうか。

## 第37回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

### <統一論題> 消費者行動研究におけるリアリティの捉え方

去る2008年11月22日、23日の両日、静岡市の東海大学短期大学部において、第37回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

1日目の統一論題では、消費者行動という学際的テーマのもとで必然的に生じてくる研究アプローチの多様性を前提として、立場やアプローチの異なる研究者たちがいかにリアリティを捉えるのかという問題についての刺激的な議論が展開されました。

1日目午後と2日目に設定された自由論題研究報告では、ここ数回のJACSの例に漏れず、数多くの発表が設定され、活発な議論がなされました。

## 学会賞の受賞者が決定しました！

第37回消費者行動研究コンファレンスにおいて、学会賞の受賞者が発表されました。

新設された日本消費者行動研究学会優秀論文賞および日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）については、残念ながら2008年度は該当なしとなりました。

今回で第8回を迎えたJACS-SPSS論文プロポーザル賞については、例年どおり秋のコンファレンスでの報告によって決定され、副賞として最優秀賞（1点）には賞金30万円、優秀賞（2点）には賞金10万円がSPSS社より贈呈されました。受賞されたのは次の方々です。

最優秀賞：兼子良久（学習院大学大学院）  
優 秀 賞：道家瑠見子（一橋大学大学院）  
高橋広行（関西学院大学大学院）

当論文プロポーザル賞は、学会での報告により、自分の研究を客観的な視点から捉え直すことのできる貴重な機会として位置づけられています。

## ー JACS-SPSS 論文プロポーザル賞ー

「カテゴリーの探求」

高橋広行（関西学院大学大学院）

先日は JACS-SPSS 論文プロポーザル賞を頂きまして、本当にありがとうございます。和田充夫先生からは「俺が賞を作ったんだ、俺に感謝しろよ！」と、何度か飲み会の席でご指導を賜りました。おかげさまで、プロポーザル賞の受賞を思い出すたびに和田先生が連想されるようになり、私の記憶にしっかりと定着しております。

現在の私の主な研究領域は、このような記憶や知識といった消費者の内部要因の探索です。とりわけ消費者のカテゴリー構造における中心的な存在を明らかにしていくことです。これまでのカテゴリーの中心に関する研究は主に、カテゴリーメンバー間の属性に基づく類似性や典型性が中心でした。研究の時期も 1970 年後半から 1990 年代前半までが盛んで、まさに情報処理アプローチであったと考えています。そのため、コンテキスト・文脈などの具体性、すなわち体験主義アプローチ（和田 2002）の視点が欠落していました。そこで私の研究はこの典型性と具体性の両者を上手く統合し構造的に見ることで、カテゴリーの中心性（すなわち王道）を形成する要因を理解し、現在停滞している多くの市場を再活性化させるきっかけを作りたいと思います。例えば、最近発売された「カップヌードルライト」は具材・内容・量は同じで 198kcal と低カロリーを実現しました。まさにカテゴリーの王道を行くブランド戦略であり、このような「カテゴリーの中心性に基づくブランド・エクイティ構築」も視野に入れて研究しております。

そもそも私がこの「認知世界」（新倉 2005）に入る大きなきっかけとなったのは、関西学院大学の修士時代に受講した新倉貴士先生の「消費者行動論」でした。このときの感動は今でも鮮明に記憶に残っています。思い起こせば、カテゴリーという「目に見えない世界」に典型的で抽象的な存在である「プロトタイプ」や具体的で良い事例としての「エグゼンプラー」が存在して

いるということに、当時非常に感銘を受けたことも、現在の研究につながっているのかもしれませんが。元々、学部時代はマーケティングや消費者行動とは縁の無い生活を送ってききましたが、就職してメーカーの新規事業部にて勤務した後、広告会社やマーケティング・リサーチといった実務の現場でどっぷりと消費者と向き合ってきました。このような経緯において、より体系的に学びたいと考えていた時期の恩師と消費者行動との出会いでした（学ぶ機会を作って下さった日本マーケティング研究所（株）JMRサイエンスの川島隆志 代表取締役にも感謝しております）。そして 2 年前、幸いにも新倉先生のご指導の下で後期課程へ進学できる機会が開けたことで、現在仕事は研究員（非常勤）としていただき、研究活動を主とする生活ができるようになりました。

「カテゴリーは何処にあるんだ！」（新倉 2005、pp.3-4）という池尾恭一先生のご指摘は新倉先生だけではなく、実はひそかに私の心にも突き刺さっております。まだまだ始まったばかりのカテゴリー探求の旅です。先生方の様々なご指摘とアドバイスを頂くことで視野を広げていきたいと思しますので、どうぞ今後ともご指導よろしくお願ひ致します。

そして現場感覚を持った研究者になれるよう頑張りたいと思います！

### 参考文献

新倉貴士（2005）、『消費者の認知世界』、千倉書房。

和田充夫（2002）、『ブランド価値共創』、同文館出版。

### 《編集担当より》

今回より、第 8 回 JACS-SPSS 論文プロポーザル賞の受賞者を紹介いたします。トップバッターは、優秀賞を受賞された高橋先生に務めていただきました。兼子先生と道家先生には次号以降で登場していただく予定です。

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

学会費の銀行振込みについて、JACS 事務局よりお願いがあります。「銀行振込」をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**●入会資格**

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●**

(事務局) 関西学院大学商学部 マーケティング研究室 (新倉貴士)  
〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155  
TEL: 0798-54-6444 FAX: 0798-51-0903 Email: tniikura@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)  
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>